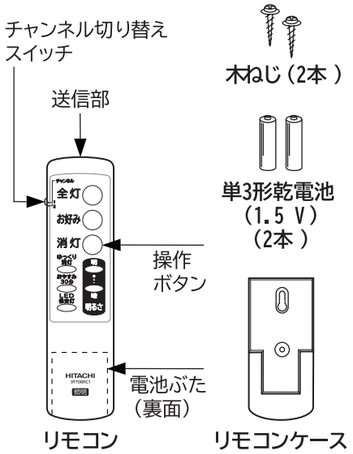
使いかた

準備・リモコンの操作

各部の名前・部品

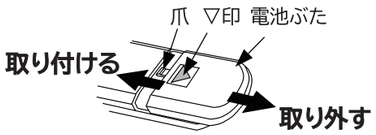


ご注意

●リモコンの平均電池寿命は、1日10回の使用で約1年間です。

乾電池の入れかた・交換のしかた

1. リモコン裏面の、電池ぶたの▽印を押しながら電池ぶたをずらして取り外してください。
2. 付属の単3形乾電池を⊕⊖の表示に合わせて入れてください。
3. リモコンに電池ぶたをかぶせて▽印を押しながらリモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付けてください。



⚠注意

●種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）また、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。

●充電式電池は使用しない。

●使えなくなった乾電池は可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。

※乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因となります。

必ず守る

●長期間使用しない場合は、乾電池を取り外しておく。

※液もれによるリモコンの故障の原因となります。

点灯確認

●操作ボタンを押して点灯確認をしてください。
（操作ボタンを押すと、リモコンからの信号が本体に入り、本体から電子音が鳴り、受信をお知らせします。）

ゆっくり消灯ボタン

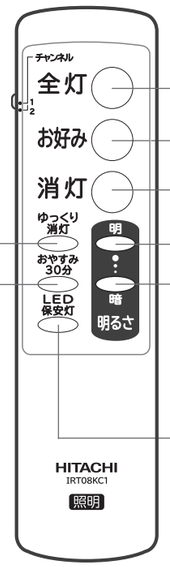
約5秒後に消灯

おやすみ30分ボタン

蛍光ランプ・LED保安灯が約30分後に消灯

●蛍光ランプ点灯時に、おやすみ30分ボタンを押すと、約30分後にLED保安灯に切り替わり、10秒後に消灯します。

●おやすみ30分の動作中に再度ボタンを押すと、本体から「ピッピッ」と電子音が鳴り、おやすみ30分の動作が解除されます。



＊全灯ボタン

蛍光ランプが100%の明るさで点灯
（チャンネルの設定にも使用します ➔P.10）

＊お好みボタン

蛍光ランプを明るさボタンで設定した明るさで点灯
（設定の手順 ➔P.9）

消灯ボタン

蛍光ランプ・LED保安灯が消灯

明るさボタン

蛍光ランプ・LED保安灯の明るさを、100%（明）～約10%（暗）の範囲で調節

LED保安灯ボタン

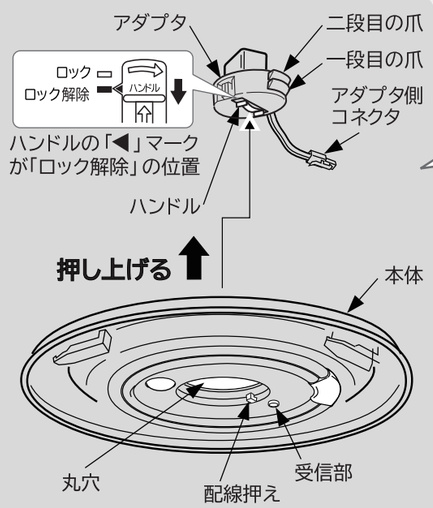
LED保安灯が点灯

（＊印・・・・所定の明るさになるまで数秒かかる場合があります。）

本体の取り付け

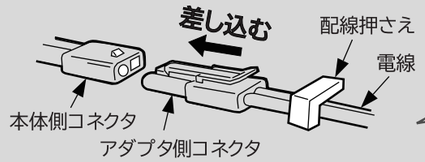
4 ハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。

5 リモコンをひんぱんに操作する方向に、受信部が向くように本体の向きを合わせ、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて、アダプタ両側の爪に掛かるまで押し上げてください。
本体がガタつく場合は、さらに押し上げてください。
（爪は上下二段あります。）



6 ハンドルを「ロック」の位置にずらしてください。

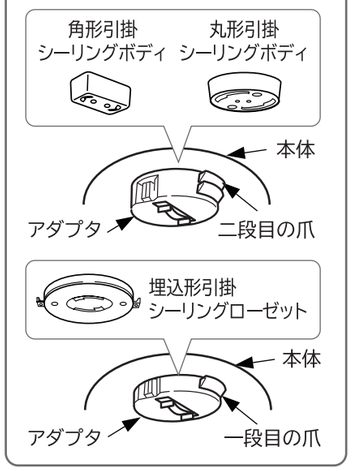
7 アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を「配線押さえ」に引っ掛けてください。



必ず守る

●天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので、必ず下の図を参照し、適切な爪（両側二ヶ所）が本体に掛かっていることを確認する。

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



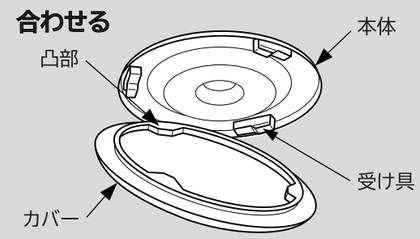
禁止

●コネクタや電線をむりやり引っぱらない。

※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

カバーの取り付け

8 本体の内側の受け具の間にカバーの凸部を合わせてください。

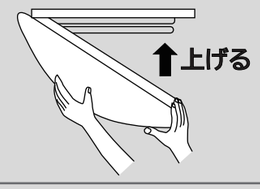


禁止

●カバーを正しく取り付けた後は、カバーをむりやり回さない。

※器具の破損、落下によるけがの原因となります。

9 反対側を押し上げてください。

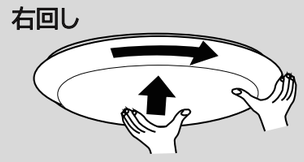


必ず守る

●取り付け後、カバーを軽く下にひっぱり確実に取り付いているか確認する。

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

10 押し上げながら、止まるまで右に回してください。



ご注意

●必ず、止まるまで回してください。